

常務理事	事務長	扱 者

被 保 険 者 族 出 産 育 児 一 時 金 等 支 給 申 請 書 (受 取 代 理 用)

申 請 者 (被 保 険 者) が 記 入 す る と こ ろ	被保険者証	記号	番号	
	申請者 (被保険者)	氏名	(フリガナ)	
		住所	〒 (フリガナ)	
		生年月日	年	月 日 電話 ( )
	出産予定日・数	年 月 日 単・多(胎)		
	出産予定者 ※申請者と同一の場合は不要です	氏名	(フリガナ)	
		生年月日	年	月 日
	出産予定 医療機関等	名称	(フリガナ)	
		所在地	〒 (フリガナ)	
	私は事業主に次の権限を委任する。病院より請求された費用(出産育児一時金)が40.4万円を下回り、差額が発生した場合の受領に関する事。 ※産科医療補償制度に加入する医療機関等において出産した場合は上限42万円。 令和 年 月 日 被保険者氏名 事業主			
申請者又は出産予定者が出産予定日から6か月以内に健康保険又は船員保険の資格を既に喪失している場合は、以下のいずれかに記載をお願いします。 ※ 健康保険法第106条又は船員保険法第73条の規定により、1年以上健康保険又は船員保険の被保険者であった方が被保険者資格喪失後、6か月以内に出産された場合、資格を喪失した最後の保険者から出産育児一時金の支給を受けることができます。				
申請者本人の退職等により、健康保険又は船員保険の被保険者資格喪失後、6か月以内に出産することによる申請である場合、資格喪失後に加入している保険者名と記号・番号	保険者名			
	記号	番号		
申請者本人の家族が被扶養者認定後、6か月以内に出産することによる申請である場合は、その家族が被扶養者認定前に加入していた保険者名と記号・番号	保険者名			
	記号	番号		
受 取 代 理 人 の 欄	申請者( ) (以下「甲」という。)は、医療機関等である( ) (以下「乙」という。)を代理人と定め、次の権限を委任します。また、甲は、出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度は利用しません。 甲が請求する出産育児一時金等のうち、乙が甲に対して出産に関し請求する費用の額 <sup>※</sup> の受領に関する事。 ※ 出産育児一時金等の支給額(保険者が出産育児一時金等に係る付加給付を行う場合には、付加相当額を含む)を上限とする。 令和 年 月 日 甲の住所 氏名 乙の所在地 名称 電話 ( )			
	受取代理人に対する支払金融機関	銀行 金融 信組		店・本店 支店・出張所
		預金種別	1:普通 4:通知 2:当座 5:貯蓄 3:別段	口座番号

(備考欄) 被保険者証の記号番号に代えてマイナンバーにより申請する場合は、備考欄へ記載してください。マイナンバーを記載した場合は、個人番号確認、本人確認をするための添付書類が必要です。